



秋祭りが開催されました

今年の秋祭りは、昨年同様、新型コロナ感染対策をとった上で、規模を縮小して実施され、10月6日(木)に三島神社で神事が執り行われ、10月7日(金)に神輿の町内巡行が行われました。

神輿の巡行は、担ぎ手の人数を絞って、お旅所間は自動車に乗せて運行し、各お旅所では五穀豊穡を感謝するとともに無病息災などが祈願されました。

恒例の三町神輿かき比べは、JAえひめ中央城北

支所の改修工事のため昨年に続き中止となりましたが、3年ぶりに新家回りが実施され、地域の伝統の継承にも繋がりました。

一方で、子ども神輿や提灯行列は、残念ながら今年も中止となりました。

来年こそは従来どおり完全な形で実施できることを願います。



地震災害の歴史

松山市は、県内でも台風などの自然災害を受けることが比較的少ない地域とされていますが、地震による災害の記録は、道後温泉の湧出停止などの形で古代から残されています。

特に、南海トラフ沿いの大地震の中で、四国沖から紀伊半島沖が震源域になった場合に、強い揺れや津波に襲われており、1707年の宝永地震、1854年の安政南海地震、1946年の昭和南海地震など、たびたび大きな被害が発生しています。

その他にも、安芸灘～伊予灘～豊後

水道で、プレートの沈み込みに伴って起きる地震により、明治以降では、1905年と2001年(平成13年)の芸予地震でも大きな被害が発生しています。地震は突然やってきます。日頃から備えておきましょう。

地震発生年月日	震度	規模(M)	(県内の)被害の概要等
天武13年10月14日 (684年11月29日)	-	8~9	[白鳳地震(南海)]伊予の温泉湧出止まる
宝永4年10月4日 (1707年10月28日)	-	8.6	[宝永地震(東南海)]道後温泉湧出停止(145日間)
安政11年11月5日 (1854年12月24日)	-	8.4	[安政南海地震]松山城内破壊、領内被害住家・非住家計2,500棟余
明治38年6月2日 (1905年6月2日)	5	7.2	[芸予地震]松山市、温泉・越智・伊予各郡で負傷17人、家屋全壊8棟、半壊58棟、破損235棟など
昭和21年12月21日 (1946年12月21日)	4	8.0	[昭和南海地震]死者26人、負傷者32人、住宅全壊155棟、県海岸線40~50cm地盤沈下、道後温泉湧出停止(70日間)
平成13年3月24日 (2001年3月24日)	5強	6.7	[芸予地震]死者1人、重傷7人、軽傷68人、全壊2棟、半壊40棟、一部損壊11,196棟、被害総額約61億円

松山市史(第1巻)、愛媛県の地震記録(県防災危機管理課)等から作成

町内会からの支出先団体通信

【潮見公民館 吉藤分館】

まずは、年間行事予定を紹介致します。

- 5月15日 青壮年ソフトボール大会 **優勝**
 - 6月中旬 レクリエーションバレーボール大会 中止
 - 8月1日 夏祭り 中止
 - 9月21日 潮見地区敬老会 中止
 - 10月7日 吉藤地区秋祭り 開催
 - 10月中旬 潮見地区体育祭 中止
 - 11月上旬 潮見地区ペタンク大会
 - 12月上旬 潮見地区グランドゴルフ大会
 - 2月上旬 潮見地区文化祭
 - 2月中旬 潮見地区卓球大会
- (※11月以降の行事の実施は未定)

以上が年間に行われる公民館が関わる文化・体育行事の予定です。しかしながら、ここ2年間殆どの行事がコロナの影響で開催されていない状況です。そのような中、体育系で唯一開催されたソフトボール大会では、吉藤チームが見事優勝致しました。

又、10月7日秋祭りでの神輿の運行は公民館における最大の行事で、8月初旬より町内会、宮総代会、子供会等からなる秋祭り実行委員会の会合を重ね、何とか開催する事が出来ましたが、残念ながら子供の提灯行列、本宮での子供神輿運行などは中止となりました。

色々とお書きしましたが、これらに関わる全ての経費は、町内会より頂く年間予算で賅っています。

また、それらとは別に吉藤集会所の老朽化に伴う改修、補修工事が次から次に出てきています。今年だけでも全館の畳表替え、2階小会議室天井張替工事等、さらにこれからの工事予定として、1階会議室のエアコン取替工事、玄関・廊下・階段の壁塗り替え、張替工事、2階大会議室のブラインド取替等々、今後益々町内会の御力をお借りしなくてはなりません。皆さま、何とぞ宜しくお願い致します。

吉藤分館長 白石 修平